

消 こんにちは！
費生活相談室です 96
消費生活相談室 (☎47-1106 FAX44-7957)

◆興味につけ込む商法にご注意を

◆事例1 「自作の俳句を新聞や雑誌に掲載しないか」と電話で勧誘を受け、無料と思って承諾したところ、高額な掲載料を請求された。

◆事例2 短歌が趣味の母に「歌人会の会報を見た。すばらしい作品なので、新聞に広告を載せないか」と電話があった。高額だったが記念になると思い承諾したところ、別の業者から同様の勧誘があり困っている。※事例からみられる勧誘のパターン

◆突然の電話勧誘で契約を結ばせる

◆広告代理店等の事業者が、新聞社からの勧誘と誤認させている

◆「すばらしい作品だ、ぜひ掲載したい」とほめる

◆掲載料は無料と勧めるが、後で高額請求する

み んなで拓く人権文化 82
地域振興課人権政策室 (☎47-1102)

「高齢者ふれあいの家」を訪問して

人権政策室では、2月から4月にかけて高齢者ふれあいの家を訪問し17会場で行った人権啓発活動を行いました。高齢の皆さんの人権が尊重された社会とは、その豊かな知識と経験を活かしながら、地域の人たちと交流し、いきいきと暮らせる社会だと考えています。今回は、高齢の皆さんご自身に、その豊富な知識と経験が地域の財産であることを再認識していただきたいという思いと、それを活かしていきたいいきいきと過ごしていただく一助になればと願って行きました。

人権啓発という、ちよつと堅苦しく思われがちですが、会場では初めに昔懐かしい童謡や歌謡曲、また農作業の風景等を映像と一緒にご覧いただきました。昔すると参加されたお年寄りも歌を口ずさまれました。昔

の話が飛び出したりして、和やかな雰囲気のもと時間が流れていきます。

その中には、この地域で盛んだった養蚕や機織りのこと、子どもの頃に鞠つきやお手玉で遊んだこと、戦時中の体験など、興味深く貴重なお話を聞くこともできました。

ところで、最近の子どもは、コミュニケーション能力の不足や自尊心の低下などが指摘されています。一緒に遊んでいるようでも携帯型ゲーム機で別々に遊んでいる姿が見受けられたりもします。

高齢の皆さんが、家庭や地域で子供たちと、身近で気軽にふれあいがながら、その豊富な知識と経験という財産を伝承していくことが、子どもにとっても高齢の皆さんにとっても大切なことであり、いきいきとした暮らしにも繋がっていくと改めて感じました。

今月のサロンコンサート

「ショパンのタバ
～ショパン生誕200年によせて～
月とき・ところ 5月28日(金)午後7時30分～8時40分
文化ホール(入場無料・お飲み物は有料)

月出演 鈴木千緒

静岡県を中心に全国で活躍しているピアニスト、鈴木千緒さん。独自の方法で追求されたピアニズムは、音楽療法的効果があると注目されています。ショパンの曲に耳を傾けながら、いやしのひとときをお楽しみください。

(問合せ先 生涯学習課文化体育係 ☎47-1093)

お忘れなく！
固定資産税 1 期
軽自動車税
の納期限は
5月31日(月)です。
・便利な口座振替をご利用ください。
・納期限内に納付がない場合、納期限後20日以内に督促状を発送します。

図書館に行こう！
(市民図書館 ☎47-1099 ホームページアドレス <http://lib.city.sakaiminato.tottori.jp/>)

北米カナダの大自然の中、白鳥夫婦と心を通わす純真な少年。米国小学校の学級文庫の古典。ピューリッツァー賞受賞。

『心コロコロ 介護のころ』
川村妙慶 川村寿法

白鳥のトランペット
E・B・ホワイト：著
松永ふみ子：訳

『週刊子どもニュース'09』
NHK 週刊子ども
ニュースプロジェクト：編

今月の新規・寄贈図書

◆赤ちゃんと絵本をひらいたら (NPO ブックスタート) ◆ほんのおおきさ水族館 (小宮輝之) ◆子ども格差 (尾木直樹) ◆このための点字事典 (黒崎恵津子) ◆憲法を知ろう！日本と世界の憲法 (池上彰) ◆屁のような人生 (水木しげる) ◆日本の近現代史をどう見るか (岩波新書編集部) ◆ルポ「がんの時代」心のケア (上野玲) ほかに計634冊

図書館利用案内

◆開館時間 午前10時～午後6時
◆休館日 毎週月曜日・毎月末
◆貸出冊数・期間 一人5冊・2週間
◆閲覧できる新聞 朝日・毎日・読売・日経・産経・日本海・山陰中央・THE DAILY YOMIURI
◆閲覧できる雑誌 文芸春秋・中央公論・世界・婦人公論・暮しの手帖・ニュー・週刊朝日ほか(館内利用のみ)



昭和三六年七月、中町交差点から東方(お台場)を見た写真です。みなと祭りの行事の一つ

平成22年4月同所撮影

昭和36年7月 みなと祭パレード

海上自衛隊音楽隊のパレード風景です。

「港まつり」は、昭和前期ころから境商工会が中心となつて桜咲く台場公園の花見とあわせ行われていましたが、戦時色が濃くなつて中断。

昭和二十一年、神戸・横浜などの重要港湾で「復興みなと祭り」が開催されましたが、境港でも町の復興と将来の飛躍発展と貿易再開を祈念して「港まつり」が復活しました。当時日本海沿岸の重要港湾では初めての試みでした。

祭りの運営は、「境みなと祭奉賛会」から境港観光協会(昭和二十六年結成)に移り市制施行後、境港市観光協会(昭和三五年)に改組、以後観光協会が中心となつて現在の「みなと祭」のにぎわいを演出してきました。

昭和三六年は、第三五代アメリカ大統領にケネディが就任、ソ連はガガーリンの帰還第一声、「地球は青かった」で有名な、初の有人宇宙飛行に成功。境港では市庁舎が竣工し(昭和三六年四月)、「港湾を有する産業文化都市」実現に向けて体制が整備された年です。

(市史編さん室 小瀬浩)